



塩田伸二 / 編集部

illustration : Nankin

緊急 企画

インターネットに
また新しい波が
訪れようとして
いる。7月19日

にコミュニケーター4.0日
本語正式版、22日にIE4.0
プレビューリリース2と、た
て続けにインターネットブラ
ウザーの最新版が登場した。
「みんなですぐにバージョンア
ップしよう!」と言いたいこ
ろだが、その前に知りたいこ
とがある。はたして、4.0に
バージョンアップしたほうが
得なのか。自分に合ったブラ
ウザーはどちらなのか。
今、この緊急企画がすべての

コミュニケーター 4.0 VS ブラウザ 4.0

どっちが違つか? どっちがいいか?

あなたは本当に
バージョンアップ
したいですか?



WWWブラウザは何ですか？

インターネット利用者2万人に聞く!!

バージョンアップしたほうが得か？ このテーマを考える前に、インターネット利用者が実際にどんなバージョンのWWWブラウザを使っているかを知りたい。そこで、編集部では「フリーウォッチ」の読者を対象にアンケートによる情報収集を行った。約2万通の回答をもとに、ユーザーが何を考え、何を求めているかを考察してみよう。

まず、プラットフォーム別の使用状況を見てみよう(図A)。ウィンドウズ95では、ついにIE3.0がナビゲーター3.0を上回ったようだ。ただし、コミュニケーター4.0の数が多いことを考えると、すでにバージョンアップ済みのネットスケープユーザーが相当数いることが推定される。これに対してIE4.0のユーザーは意外と少ない。マッキントッシュでは、3.0、4.0ともに圧倒的にネットスケープの勝利。ただし、コミュニケーター4.0ユーザーは意外と少ない。マック版のIE4.0 PR1の日本語版は、このアンケートの締め切り1日前にあたる8月4日に発表された。72人という数は少ないと見るべきかそれとも多いと見るべきか。

さらに興味深いのが図Bの結果だ。IE3.0とナビゲーター3.0の組み合わせを筆頭に、圧倒的多数のユーザーが複数のWWWブラウザを使っている。さすがに、IE4.0とコミュニケーター4.0だけの組み合わせというのは全体の2パーセントにとどまる。さらに、このなかでナビゲーター3.0だけを使っている人にIE4.0を入れるかどうかを、反対にIE3.0だけを使っている人にコミュニケーター4.0を入れるかどうかを聞いた結果が図Cだ。どちらも極めて少ない。「乗り換え組み」は少数ということが分かる。

バージョンアップしたいかどうかに関しては、コミュニケーター4.0では、ウィンドウズ、マックともに「はい」と答えた人が半数を超えた(図D)。プレビュー版のIE4.0でさえ、ウィンドウズユーザーの半数以上が「はい」と答えている(図E)。

それでは、なぜ4.0にアップデートしたいかという理由を見てみよう(図F)。IE、コミュニケーターともに「最新機能が使いたい」、「最新のコンテンツが見たい」というのが多い。反対に、「バージョンアップしたくない」理由(図G)を見てみると、「今のままで不満はない」という現状肯定派と、「安定して動作するかどうか不安」という慎重派に分かれる。「何のメリットがあるかわからない」というのも深刻な理由だ。

それでは、これらの貴重な情報をもとに「あなたは本当にバージョンアップしたいですか？」という問いの答えを、この記事の中から見つけてほしい。

図A

現在使っているWWWブラウザは何ですか

	ウィンドウズ95	マッキントッシュ
Netscape 2.x	659	250
Netscape 3.x	5842	1631
Netscape 4.x	2766	505
Internet Explorer 3.x	6775	466
Internet Explorer 4.x	1725	72
その他	361	120



図B

WWWブラウザ組み合わせベスト10

1位	N3 + I3	3275
2位	N3	2689
3位	I3	2162
4位	N4 + I3	826
5位	N4	753
6位	N3 + N4	629
7位	N3 + N4 + I3	488
8位	I4	433
9位	N4 + I4	430
10位	N3 + I4	349

図C

Netscape3からIE4に乗り換える予定はありますか

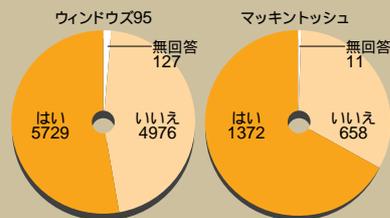
はい	193	いいえ	1896
----	-----	-----	------

IE3からNetscape4に乗り換える予定はありますか

はい	305	いいえ	2327
----	-----	-----	------

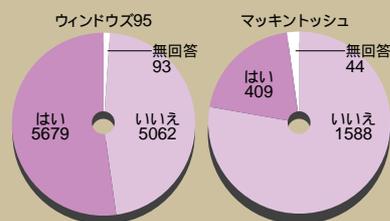
図D

コミュニケーター4.0をセットアップする予定はありますか



図E

IE4.0をセットアップする予定はありますか



図F

4.0にバージョンアップしたい理由

1位	WWWブラウザは常に最新のものを使いたい	10229
2位	新しいHTMLに対応したコンテンツを見たい	4492
3位	その他の新機能を使いたい	3724
4位	プッシュ型コンテンツを使いたい	3087
5位	新しいメールソフト・ニュースリーダーを使いたい	2045
6位	職場などで導入が決定されている	297
7位	自分のホームページの見えかたの確認	130

図G

4.0にバージョンアップしたくない理由

1位	現在使用しているブラウザに特に不満はない	7451
2位	安定して動作するかどうか不安	5612
3位	セキュリティーに不安がある	2625
4位	バージョンアップするメリットがよくわからない	2569
5位	操作方法や使用感が変わってしまうのは避けたい	2433
6位	購入またはダウンロードするのが面倒	2065
7位	自分のマシンのCPUやハードディスク、メモリーなどが不十分	1794

START

自分のパソコンは以下の条件を満たしている

[Windows の場合]

CPU :
Pentium 90MHz 以上
メモリー : 32MB 以上
ハードディスク :
100MB 以上の空き

[Macintosh の場合]

CPU : PowerPC
メモリー : 32MB 以上
ハードディスク :
100MB 以上の空き

Y

N

自分のホームページを持っている

Y

N

自分のホームページの見た目が、WWWブラウザごとにどのように違うのかが気になる

Y

N

毎日必ずチェックしているサイトがあるので、オートパイロットを使いたい

Y

N

WWWブラウザをお金払って購入してもいい

Y

N

マシンの買い替え、メモリー・ハードディスクの増設予定がある

Y

N

Windows 98に興味がある

Y

N

4.0バージョンアップ診断

ネットスケープかインターネットエクスプローラか。バージョンアップするべきか、しないほうがいいのか。迷っているあなたのためにチャートを用意してみました。あなたの進むべき道はこれで決定。迷わず次のページへと進んでください。

あなたにピッタリのWWWブラウザはこれだ!!



4.0



4.0



4.0

現在お使いのブラウザをご利用ください

2.0/3.0

すべてのウェブページを正しく見たい

Y

N

セットアップしたソフトはきちんとサポートしてもらいたい

Y

N

私は判官びいきだ

Y

N

プッシュ型コンテンツを今すぐ体験したい

Y

N

ベータ版をセットアップするのはいやだ

Y

N

でもやっぱり最新のWWWブラウザが使いたい

Y

N

新機能一挙紹介「これが

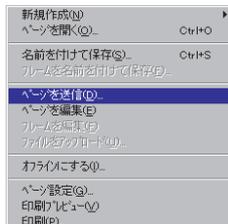
WWW
ブラウザ
編

ネットスケープコミュニケーターは、WWWブラウザに電子メール(メッセンジャー)、コラボレーション(コラボラ)、HTMLエディター(コンポーザー)のそれぞれの機能を統合したインターネットブラウザだ。このうち、WWWブラウザは以前と変わらず、ナビゲーターと呼ばれている。ナビゲーターには、従来の機能に加えてさまざまな拡張機能が装備された。ツールバー周りなどのインターフェイスの強化に加え、スタイルシートなどにも対応し、ほとんどのウェブページが表示できるようになった。

ネットスケープ ナビゲーター 4.0

A ウェブページをメールで送信できる

ナビゲーター4.0では、WWWブラウザで見ていたウェブページをそのままメールで送ることができる。結構面白いページがあって、それを他人に教えたい場合にも便利だ。



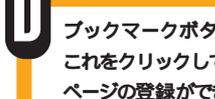
C ツールバーのサイズがワンタッチで変更できる

ナビゲーター4.0には、ツールバー、アドレスバー、リンクバーの3つのバーが装備されている。これらのバーの左端をクリックするだけで、バーを折り畳んで非表示にすることができる。



D ブックマークの登録が簡単にできる

ブックマークボタンがアドレスバーに付き、これをクリックして出るメニューから簡単にページの登録ができる。使うときにはこのメニューから項目を選ぶだけ。編集用の別ウインドウを表示させることも可能。



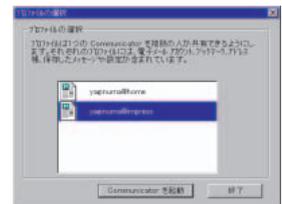
E URLの入力が簡単になる

アドレスバーにURLを手で入力する場合、アドレスを入れていくと、過去にアクセスしたURLと一致したところで、その後半部分が自動的に入力される。



F 設定の切り替えができる

複数のユーザーの同時使用が考慮されており、設定をまとめた「プロファイル」を複数作成することができる。自宅と会社などの設定切り替えが可能。なお、これによってメールアドレスも切り替わる。



B 一度訪れたページにジャンプできる

ナビゲーター4.0では、ページを前後に進んだり戻ったりするボタンと履歴メニューが一体になった。ボタンを軽くクリックするとページを前後にたどることができ、ボタンを押し続けるとその方向の履歴がメニューとして表示される。



G 各コンポーネントが簡単に呼び出せる

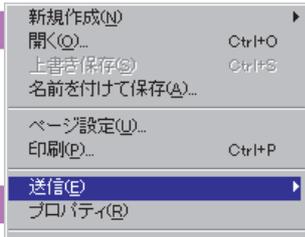
ステータスバーにあるコンポーネントバーで、メッセンジャーやコラボラ、コンポーザーなどを簡単に起動できる。このバーは、取り外すことで独立したウインドウにもなる。また、配置の縦横切り替えも可能。



できる! ここが変わる!

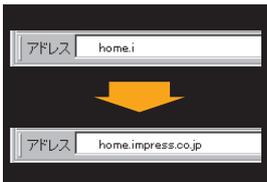
A ウェブページをメールで送信できる

IE4.0では、現在表示されているウェブページをメールで送信できる。このとき、ページデータそのものを送るか、URLだけを送るかが選択可能。また、ここからデスクトップにウェブページのショートカットを置くこともできる。



B URLの入力が簡単になる

IE4.0のアドレスバーはオートコンプリート機能を備えている。これは、過去にアクセスしたサイトであれば、URLを途中まで入れると、後半部分を補完してくれるという機能だ。



C 欲しい情報に素早くアクセスできる

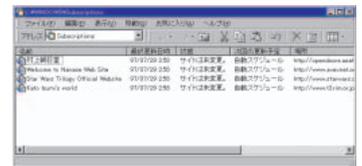
新しく装備されたエクスプローラーは、お気に入り、履歴、アクティブチャンネル、検索のための表示領域だ。お気に入りは、自由に順番を変更でき、さらに使い勝手が良くなっている。検索は、現在Yahoo日本語版のみだが、他の検索エンジンにも対応する予定。履歴は、週ごとにまとめられ、先週見たページという記憶のあいまいなサイトも見つけやすくなった。

IE4.0は、ウィンドウズ95のシェルと統合できるWWWブラウザで、ウィンドウズ95の中でもウェブの技術を使ってフォルダやデスクトップのカスタマイズが行えるというものだ。WWWブラウザとして、従来の機能を受け継ぎながら、まったく違ったソフトウェアに生まれ変わった。また、電子メールやコラボレーション用にはアウトLOOKエクスプレスと呼ばれるソフトウェアが付属しており、こちらにも機能が強化されている。

インターネット エクスプローラ 4.0

E ウェブページを購読できる

IE4.0には、ウェブページの更新状態をチェックし、常に最新のページをハードディスクに保存しておく機能がある。これは「購読」と呼ばれ、URLで指定できるページならどんなページでも登録できる。ダイヤルアップ接続用に、スケジュールに従って接続を自動的に行う機能も提供される。



D 一度訪れたページにジャンプできる

「戻る」、「進む」ボタンの横の小さな三角を押すと、その方向の履歴リストがメニュー形式で表示される。これで前後のページへ一気に移動することが可能になる。ページ履歴の中での移動は、マウスだけで簡単に行える。



F フレームを一度に印刷できる

IE4.0はページの印刷機能も強化されている。フレームを含んだページも、オリジナルの状態(見た目のまま)での印刷、指定したフレームのみ印刷、全部のフレームを別々に印刷の3つの方法が選択できる。

G セキュリティーを自由に設定できる

接続先を「イントラネット」、「信頼済みサイト」、「インターネット」、「制限付きサイト」の4つのゾーンに分類し、それぞれに個別のセキュリティ設定が可能。



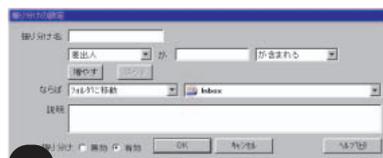
ある調査によると、インターネットでもっとも使われている電子メールソフトはナビゲーターに付属のメールソフトだという。ネットスケープコミュニケーターの電子メール機能はメッセンジャーと呼ばれ、メールの振り分けや暗号化などの機能が付き、大幅に強化された。また、ユーザーインターフェイスも改良されて、多くのフォルダーが扱いやすくなり、コラボレーションと電子メールフォルダーを1つのツリーで管理できる。

N ネットスケープ メッセンジャー



A メッセージの 検索ができる

受信したメールの検索機能があり、差出人や日付、本文内の文字列などを条件に検索ができる。複数の条件を指定することもできるので、複雑な検索も可能。なお、これとは別にメッセージ内での文字列検索も行うことができる。

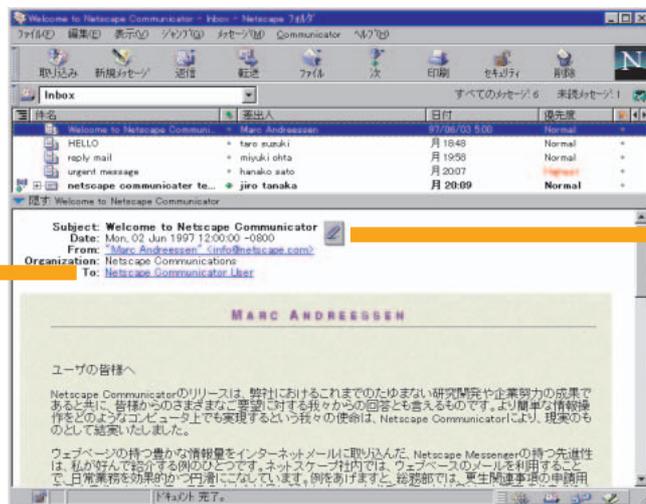
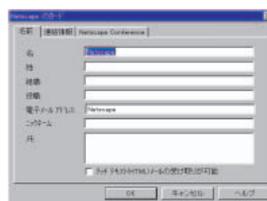


D メール の振り分けができる

着信メールを分類してフォルダーへ仕分けする「振り分け」機能が装備された。宛先や差出人を条件にして、フォルダーへの転送や「既読」などの状態変更が行える。なお、フォルダーに振り分けられる場合にはあらかじめ転送先のフォルダーを作成しておく。

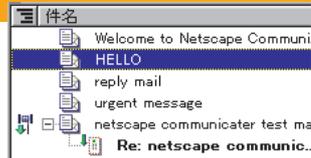
B アドレス帳への 登録が簡単

受信メールのヘッダー部分にあるメールアドレスは、リンクと同様に下線が付く。これをクリックすると、アドレス帳の追加ダイアログボックスが開き、簡単にアドレスの追加が行える。



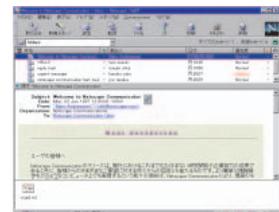
F スレッド表示ができる

受信メールのリストを表示するとき、日付や差出人でのソート表示とスレッド表示が可能。これは、メッセージとその返信という形でメールを並べ替える方法で、1つの話題に対してのやりとりをまとめて見ることができる表示方法。メーリングリストなどでは効果的だ。



G 添付ファイルが 表示できる

添付ファイルのあるメールは、ヘッダーの横にクリップのアイコンが付く。これをクリックすると、添付ファイルのアイコンがメッセージの下に表示される。さらにこれをダブルクリックすることで添付ファイルを開くことができる。



C 送信の設定が簡単に できる

送信するメールの設定は、送信オプションタブで簡単に設定できる。タブは宛先入力欄のそばにあり、添付ファイルや優先度などの設定が行える。また、送信するときメール本文の形式をHTMLのまま送るかテキストだけに送るかの切り替えも行える。



E 自動アドレス入力 ができる

アドレス帳にニックネームが登録してあるユーザー宛のメールを送るとき、宛先欄ではオートコンプリート機能が使われる。ニックネームを途中まで入れると後半部分が補完され、リターンキーで確定すると、これが登録されているアドレスに変換される。

H HTMLメールの 送受信ができる

一般的なテキスト形式のメールのほか、書式などを付けたHTML形式のメールが作成できる。画像なども貼り込むことができるため、より表現力のあるメールをやりとりできる。アドレス帳で設定しておけばHTMLメールが受け取り可能なユーザーにはこの形式のメールが送られ、そうでないユーザーには、通常のテキスト形式のメールが送られる。

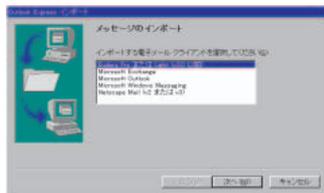


アウトルック エクスプレスメール

従来のマイクロソフトインターネットメールとニュースに代わって導入された電子メールとコラボレーションソフトがアウトルックエクスプレスだ。インターフェイスはオフィス97付属のアウトルック97に似ており、同じような操作で使うことができる。また、HTMLメール機能やメール振り分けなどの機能も使用できるため、インターネットの電子メールを扱う点では、アウトルック97よりも機能が充実している。

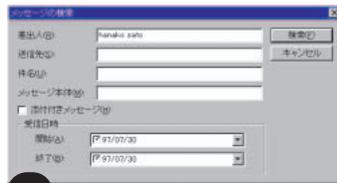
A 他のメールソフトからの乗り換えに対応

アウトルックエクスプレスはインポート機能が充実しており、他社のメールソフト（ユードラプロ、ネットスケープメール）やマイクロソフトのエクステンジ、インターネットメールからアドレス帳や受信メッセージを取り込むことが可能。このため、アウトルックエクスプレスへの移行が簡単に行える。



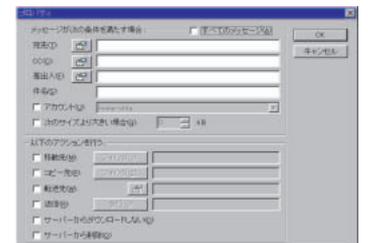
D メッセージの検索ができる

アウトルックエクスプレスではメッセージ検索機能が強化されており、差出人や宛先、件名、本文に含まれる文字を条件に検索が可能。このため、数多くのメールの中から該当するメッセージを簡単に見つけられるようになった。また、受信日時の範囲を指定しての検索もできる。



F メール振り分け機能の拡張

メールの振り分け機能を設定する「受信トレイアシスタント」はインターネットメールにも装備されていた。アウトルックエクスプレスでは、条件にあてはまるメールをサーバーからダウンロードしない設定も可能になり、より柔軟性が高くなった。



B スレッド表示ができる

スレッド表示は、メッセージを返答関係でまとめて表示でき、一連の議論を把握するのに便利な表示方法だ。特に複数の議論が同時進行するメーリングリストなどで利用すると、メッセージが読みやすくなる。もちろん、日付や差出人によるソートも可能。



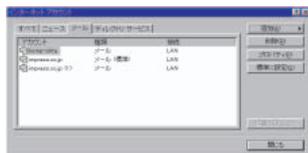
G 添付画像の自動表示ができる

添付ファイルで送られてきた画像が自動的に表示されるので、わざわざ画像プログラムを起動する必要がない。複数の画像がある場合、スライドショー表示することも可能。



C アカウントの切り替えができる

複数のプロバイダーと契約している場合、あるいは会社と自宅などのように複数のメールサーバーを使う場合にも対応できる。個々の接続条件はアカウントとして登録され、これを切り替えて使う。

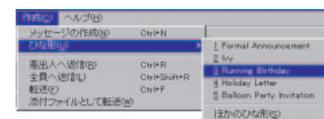


E HTMLメールの送受信ができる

画像や文字の書式などを指定できるHTML形式のメールの送受信ができる。この形式は、従来のリッチテキスト形式より汎用性が高い。送信ウィンドウには、書式設定のためのツールバーがあり、書式設定も簡単に行える。受信メールでリンクをクリックすれば、通常のウェブページ同様にリンク先のページへのジャンプも可能だ。

H ひな形が使える

あらかじめ、画像や背景を指定したひな形が用意されており、これらを指定するだけでカラフルなメッセージが簡単に作成できる。また、ひな形はHTMLファイルででき
ており、これを自分で作成して登録することもできる。



N ネットキャスター



今回のバージョンアップで注目を浴びたのが、プッシュ機能を提供するネットキャスターだ。8月16日現在、正式版の発表は英語版(4.0.2)のみだが、ページを自動収集するオートパイロット機能と、フルスクリーン表示機能は注目に値する。一刻も早い日本語化を期待したい。

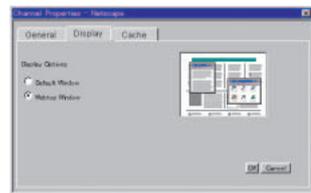
A チャンネルの選択が簡単にできる

受信したいチャンネルを選ぶには、チャンネルファインダーからプレート表示をクリックする。そのチャンネルの概要が表示されるので、あとは「ADD CHANNEL」ボタンをクリックするだけでチャンネルとして登録される。



B フルスクリーンで表示できる

受信したチャンネルを、画面一杯に表示するのがウェブトップと呼ばれる機能だ。ニュースサイトなどをこの表示にしておくとう便利だろう。設定はチャンネルのオプションで「WebTop」を選ぶだけで。



C ページの自動収集ができる

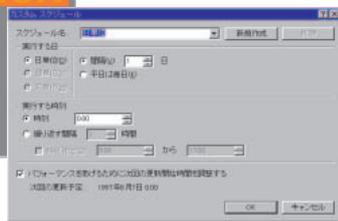
ネットキャスターは一定の時間ごとにページをチェックして、内容を自分のディスクの中に保存する。チャンネルファインダーに登録されていないサイトの場合は、「New」ボタンを押してURLを指定すればよい。

プッシュ編

e アクティブチャンネル

A 多彩なスケジュールの設定ができる

チャンネルを更新するタイミングは、サーバー側で用意したCDFと呼ばれるファイルに記述されている。しかし、ユーザー側でもかなり細かく設定することができるので、なるべく自分の都合に合わせた設定をしておこう。

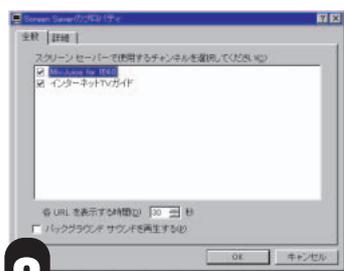


B フルスクリーンで表示できる

IEの新しい表示オプションがこのフルスクリーン表示だ。チャンネルは通常はこのモードで表示されるので、ノートパソコンのような狭い画面でも問題ない。また、通常のページでも「表示」メニューからこのモードを利用することができる。



いよいよインターネットエクスプローラのチャンネルがその姿を現した。ベータ版とはいえ、ページ更新の設定のきめ細かさ、スクリーンセーバーとしての閲覧機能など、すでにその完成度はかなりのものだ。



C スクリーンセーバーにもなる

アクティブチャンネルはスクリーンセーバーとして見ることもできる。複数のチャンネルを自動的に切り替えながら表示することもできるので、ニュースサイトなどを登録しておくのが便利だろう。

シェル統合編

IE4.0は、「シェル統合をする」の「完全インストール」を選んでセットアップすると、再起動後に立ち上がった画面の変化に驚かされる。WWWブラウザのバージョンアップだけではなく、ウィンドウズ自体のインターフェイスががらりと変わってしまう。IE4.0は、アクティブデスクトップにチャンネルバーといった新機能のほか、URLを入力できるタスクバーなど、インターネットから容易に情報が得られるような環境を提供してくれる。

Web UI

A シングルクリック

今まで、ファイルやフォルダーを開くにはダブルクリックする必要があったが、シェル統合によってシングルクリックでこれができるようになる。これは、まるでウェブページのリンクをたどるような感覚だ。

B お気に入り

自分の好きなウェブページや頻繁に見るページを登録できる「お気に入り」がスタートメニューに加わった。これで、WWWブラウザを先に起動しなくても、一発でお気に入りのページを見に行ける。

C アカウントの切り替え

スタートメニューに「XXXX ログオフ」という項目が追加された。1台のコンピュータを複数の人で使用する場合に、ログインしたユーザーに合わせてアウトLOOKエクスプレスのメールアカウントなどが切り替わる。

D インターネットの検索

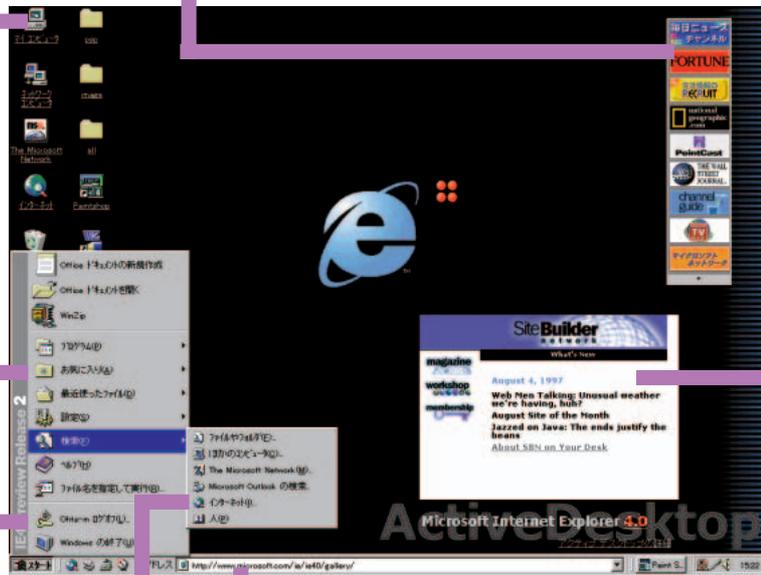
スタートメニューの検索に「インターネット」が加わった。これを選ぶと直接検索サイトにアクセスできる。IE4.0では、WWWブラウザのツールメニューにある「検索」で表示される検索エンジンはYahoo! JAPAN だけだが、ここから起動すると9種類の検索エンジンが使える。

E チャンネルバー

PR2でついに姿を現したチャンネル。日本語版では、初めから9つの番組が提供されている。カスタマイズも簡単で、ウェブサイトやCDFさえ用意されていれば、自分の好きなチャンネルをここに組み込むことができる。

H アクティブデスクトップ

デスクトップ上にウェブページを表示できる。壁紙のようだが、WWWブラウザの機能を持っているのでリンクをたどることもできる。この「窓」は、サイズを自由に変えたり、デスクトップの好きな場所へ移動したりできる。これを設定するには、右クリックの「プロパティ」を選び、設定画面の「Web」タブでURLを指定すればいい。

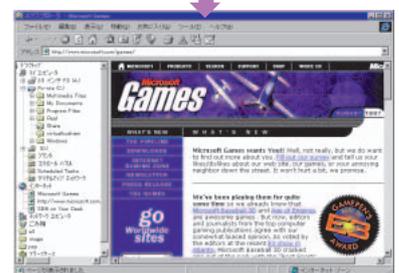
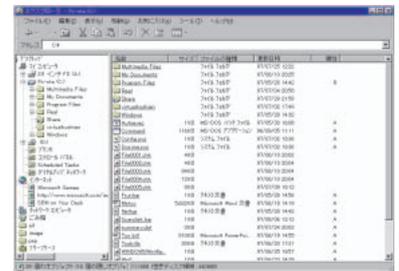


F 拡張タスクバー

WWWブラウザやメールソフトを簡単に立ち上げるクイック起動アイコンやアドレス、リンクなどをツールバーに組み込める。アドレスバーにはURLのほか自分のコンピュータにあるファイル名も指定可能だ。

G ウィンドウズエクスプローラからウェブサイトへアクセス

ウィンドウズのファイルやフォルダーを管理する「エクスプローラ」から直接ウェブサイトへアクセスできる。アドレス欄にURLを入力するか、「インターネット」アイコンの下のアイコンをクリックするだけで右ペインにホームページが表示される。



細部にこそ選択の決め手がある

これがこだわりの機能比較一覧だ!

ネットスケープ
コミュニケーター 4.01

インターネット
エクスプローラ 4.0 PR2



WWWブラウザ	ナビゲーター	エクスプローラ
インターフェイス		
戻る、進む拡張メニュー		
タブキーによるリンクの選択		
ツールバーのカスタマイズ		
検索ボタン(表示される検索サイト)	(Acaranavi, Exite, Hole-in-one, infoseek Japan, Yahoo Japan)	(Yahoo Japan)
URLのオートコンプリート機能		
エクスプローラバー	×	
ドラッグアンドドロップでブックマーク(お気に入り)を登録		
ブックマーク(お気に入り)の並べ替え		
コンポーネントの起動		
オフラインリーディング		
キャッシュからの読み込み		
オフラインに切り替え		
ページの更新を知らせる	×	
ダウンロードのスケジュールを設定	(ネットキャスターを利用)	
HTML対応		
HTML 3.2		
カスケーディングスタイルシート		
JavaScriptスタイルシート		×
ダイナミックHTML		
ダイナミックフォント		×
フルスクリーン(canvas)モード	(HTMLに指定)	(メニューから)
絶対位置指定	レイヤータグ、スタイルシート	スタイルシート
WYSIWYGエディター装備		
印刷、送信		
ページの印刷	選択したフレームを印刷	選択したフレームを印刷 すべてのフレームを個々に印刷 フレームを表示されたとおり印刷 リンク先をすべて印刷
ページの送信	(編集不可) 選択したフレームを送信	(編集可) フレームをすべて送信

ネットスケープ
コミュニケーター 4.01

インターネット
エクスプローラ 4.0 PR2

電子メール	メッセージャー	アウトルック エクスプレス
メッセージの作成		
アドレス帳から受取人を選択		
テキスト形式とHTML形式の切り替え		(自動)
任意のメールからメッセージを引用		×
メールアドレスのオートコンプリート		×
テンプレートの使用		
vCardの添付		
送信オプション	TO:, CC:, BCC:, グループ, 返信先フォロー先	TO:, CC:, BCC:,
メッセージの管理		
フォルダーの階層化		
メールの振り分け	【条件】差出人、件名、本文、日付優先度、状態、宛先、CC、宛先またはCC 【結果】フォルダーに移動、優先度を変更、削除、読んだことにする、スレッドを無視、注目スレッド	【条件】宛先、CC、差出人、件名、アカウント、次のサイズより大きい場合 【結果】フォルダーに移動、フォルダーにコピー、転送する、返信する、サーバーからダウンロードしない、サーバーから削除
メッセージの検索	【条件】差出人、件名、本文、日付優先度、状態、宛先、CC、宛先またはCC	【条件】差出人、送信先、件名、メッセージ本体添付付きメッセージ、受信日時(範囲)
スレッド表示		
フラグ(印)を付ける		×
草稿フォルダーに保存		
フォルダーの圧縮		
複数アカウント		
アカウントの切り替え	(起動時)	(随時)
アドレス帳		
項目	名前、メールアドレス、組織、市町村、ニックネーム	名前、電子メール、勤務先電話番号、自宅電話番号
vCardのインポート	×	
登録	From、Toのメールアドレスをクリック	From、Toのメールアドレスを右クリック
乗り換え		
ほかのメールソフトからメッセージをインポート	×	Eudora Pro(Light)、アウトルック、エクスチェンジネットスケープメール(2.0、3.0)
標準プロトコル対応		
IMAP4		
LDAP		
セキュアメール		
署名付きメール		
暗号化メール		

左図の機能比較一覧を見ても分かるとおり、機能面ではコミュニケーターとIEの優劣を決定付けるような「決め手」はない。もちろん、「チャンネル」と「シェル統合」がほしいならば文句なくIEだ。反対に「ネットキャスター」派ならコミュニケーターしかない。でも、多くの人はこれらの新機能よりも

もっと基本的なWWWブラウザとメールなどの基本的な機能のほうが気になるはずだ。

WWWブラウザの性能の差を見てみると、IEの「購読」機能がナビゲーターを一步リードしている。ネットキャスターにもオートパイロット的な機能が備わっているが、現在の不安定

さでは日常的に使うのは難しい。IEの「エクスプローラー」も強力だ。今まで、影の薄い存在だった「履歴」がこれによって非常に便利な機能になった。ただし、エクスプローラーに関しては「ただうとうしいだけの機能」という声も上がっている。

HTMLの表現力はほぼ互角だ。規格の統

一は不完全だが、カスケーディングスタイルシートはどちらでも表示できるようになった。どうしてもレイヤータグやJavaScriptスタイルシートを使ったページを見たいなら、当然ナビゲーターを使うことになる。ダイナミックHTMLに関しては、ある程度の標準化が進むまで2つを使い分けるしかない。

索をする際に指定する「条件」のバリエーションもメッセージのほうがやや豊富だ。ただし、アウトLOOKエクスプレスの振り分け機能に「条件に当てはまるメッセージをサーバーからダウンロードしない」というオプションが加わったのは注目に値する。これは、モバイルユーザーにとって強力な味方になる

はずだ。

また、プレビューリリースということもあって、アウトLOOKエクスプレスには若干の不具合が残っている。新規メールの作成時にフォントの大きさが変わったり、メッセージの冒頭になぜか1文字分のスペースが入ったりする。電子メールに関しては、十分な機能と信頼性から見てもパワーユーザーにはメッセージングがおすすめだ。

ここまで、機能面だけにスポットをあててきたが、決してこれがすべてではない。やはり、ソフトウェア選びには「手触り」のような主観的な要素が欠かれない。次のコーナーではこの点にも注目してみたい。

機能だけで選ぶなら 結果はこうなる

やりたいことは何かが決め手だ

電子メールソフトは、WWWブラウザ以上に細かな機能に注目したい。メッセージングには、メッセージの作成時における引用の容易さ、アドレスのオートコンプリート機能、宛先指定のバリエーションなど、メールを使い込んだユーザーには非常にうれしい機能が満載だ。メールの振り分けやメッセージの検

索をする際に指定する「条件」のバリエーションもメッセージのほうがやや豊富だ。ただし、アウトLOOKエクスプレスの振り分け機能に「条件に当てはまるメッセージをサーバーからダウンロードしない」というオプションが加わったのは注目に値する。これは、モバイルユーザーにとって強力な味方になるはずだ。

また、プレビューリリースということもあって、アウトLOOKエクスプレスには若干の不具合が残っている。新規メールの作成時にフォントの大きさが変わったり、メッセージの冒頭になぜか1文字分のスペースが入ったりする。電子メールに関しては、十分な機能と信頼性から見てもパワーユーザーにはメッセージングがおすすめだ。

気になるあの問題は どうなったの？

セキュリティ、
メールの不具合……

1 エクスプローラのセキュリティホールは4.0で解決されたのか。

IEのセキュリティホールとして問題になったのは、ローカルにある実行ファイルを指すリンクを使うと、WWWブラウザからプログラムが実行できてしまうというものだ。これは、ローカルにダウンロードしたコンポーネントを実行するアクティブXでは、URLの処理をアクティブXモジュールで処理するために起こる問題だ。現在配布されている3.02では、実行前にユーザーに確認を促すという形をとっていた。IE4.0では、「ゾーン」によってコンポーネントの実行と禁止を詳細に設定できるため、これを間違わない限り問題はないはずだ。インターネットゾーンでは「高」を選択しておけば、ダイアログが表示されて実行するかどうかを個別に判断できるようになる。

2 コミュニケーター4.0にもセキュリティホールが発見された。これは4.01や4.02で解決されたのか。

コミュニケーターで発見された最も新しいセキュリティホールは、「Singapore Privacy Bug」と呼ばれるもので、JavaScriptとJavaアプレットを利用してユーザーが巡回したサイトの履歴などを盗み見できるというものだ。このセキュリティホールには、8月1日現在、対応版が出荷されておらず、設定によってJavaとJavaScriptの動作を止めるしかない。JavaScriptだけを使う同様のセキュリティホールについては、4.02版で解決された。

3 マイクロソフト社のメールソフトはメーリングリストやニュースグループなどで不具合が指摘されていたが、IE4.0ではこれが解決されたのか。

アウトLOOK97でインターネットメールを使う場合に問題になっているのは、「リッチテキスト形式」で送信してしまうことがあるという点とメッセージヘッダーがおかしいという2点だ。前者は、アドレスをアウトLOOKエクスプレスのアドレス帳に登録する際に、「テキストの電子メールメッセージだけを送信する」という項目をチェックしておけば防げる。メッセージIDの問題は、NETBIOSのマシン名がドメイン名の代わりに使われるという不具合だった。これについては、アウトLOOKエクスプレスでは解決されており、メッセージIDはサーバーに付けさせるようになったようだ。

Q&A

バージョンアップしたいけどここが不安……

ここまで、4.0の新機能について見てきた。「何ができるか」は、おおよそ分かっていただけたと思う。でも、冒頭のアンケートにもあったように、まだまだ多くのユーザーがバージョンアップに「不安」を持っている。そこで、4.0にまつわるさまざまな疑問や不安を一挙にまとめて、できる限りこれに答えてみた。「バージョンアップしよう」と思ったときの参考にしてほしい。



バージョンアップする前に聞きたいこと！

Q1 動作環境を教えてください！



Windows95の場合で説明すると、必要メモリは16M

バイト(コミュニケーター)、8Mバイト(エクスプローラ)、ディスク容量は最小セットアップのとき32Mバイト(コミュニケーター)、43Mバイト(エクスプローラ)となっている。なお、コミュニケーターの場合はパッケージの発売元によって、付属ソフトウェアなどの構成が違っており、最低必要ディスク容量が異なるので、パッケージ購入の際にはあらかじめ確認しておく必要がある。

また、CPUは最低でも486以上のものが必須。ストレスを感じない程度に動かすにはペンティアム133MHz以上がおすすめ。CPUがこれ以下、特に486マシンでは、スピードが遅いと感じるかもしれない。また、コミュニケーターとIE両方をセットアップするのであれば、メモリーも32Mバイト以上は

欲しいものだ。

なお、ハードディスクは使っているうちにさまざまなコンポーネントやプラグインをダウンロードし、キャッシュなども増えてくるので、この倍ぐらいの空きがあったほうがいいだろう。

Q2 コミュニケーターとIE両方入れるとき、どちらを先にセットアップしたほうがいいのか？



現時点では、IE4.0はベータ版なので、ほかのプログラムにどのような影響を与えるかまったく分からない。ただ、PR2からはアンインストールすると、元に復帰できるようにはなっているので、こういう場合、先にコミュニケーターをセットアップしておいたほうがいいだろう。こうすれば、IE4.0をアンインストールしても、原理的にはコミュニケーターの動作に影響を与えることはないはずだ。

なお、コミュニケーターを先にセットアップした場合、起動時に現れる「普段使うプ

ラウザー」のダイアログボックスでは、「いいえ」を押して、IE4.0の状態を壊さないようにしたほうがいいだろう。というのは、IE4.0はWindows95のシェルと深く結びついたので、「はい」を押すと影響が出ることが予想されるからだ。

Q3 2.0から4.0へのアップグレードは可能か？



コミュニケーターもIEも基本的ににはアップグレードパッケージではないので、セットアップに際して以前に使っていたバージョンが問題になることはない。ただし、直前のバージョン以外では、ブックマークなどの引き継ぎがうまく行われないこともある。

Q4 3.0と4.0を使い分けることはできるか？



ナビゲーター3.0とまったく別のフォルダーにセットアップするようになれば、使い分けることは可能。ただし、キャッシュやメールフォルダーなどもまったく別になるようにしておかねばならない。また、このようなやりかたは保証された使いかたで

言いたい放題

「だから私はこっちが好き！」

その1

編集人
井芹昌信

コンピュータを購入したときにプリインストールされていたIEの製品版をそのまま使い続けています。

自宅と携帯用のコンピュータは日々頻繁に使うこともあり、安定性の高いIE3.0のままです。IE4.0は、使っている最中にパソコンが落ちはしないかと、今でも不安を感じています。会社のデスクに置いているコンピュータにはすでにIE4.0をセットアップして試用していますが、ウィンドウズのエクスプローラから直接URLを打てたり、エクスプローラ自体がEと同じインターフェイスになったりと、機能面では便利になりましたね。ただ、IE4.0はファイルサ



イズが大きいうえに実行のスピードが遅くなるので、マシンパワーがないと辛いですね。この意味でも、普段使用している

自宅や携帯用のコンピュータはCPUがDX4や70X互換チップということもあり、今はIE4.0へバージョンアップする予定はありません。

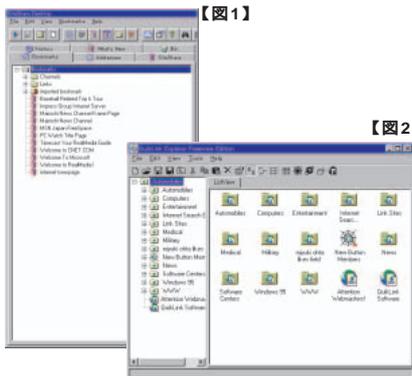
IE4.0をセットアップしたあとに、ウィンドウズが起動してファイルを開こうとしたら、いきなりシングルクリックになっていたのには驚きました。今は、シェル統合に慣れてしまったので不都合を感じていませんが、アプリケーションのセットアップでOSまで変わってしまうのは考えものですね。

はないので、行うには注意が必要だ。

E IEは、プログラム構造が複雑で多数のモジュールからできているため、別ディレクトリーにセットアップしても、ウィンドウズディレクトリーやシステムディレクトリーに格納されているモジュールは置き換えられてしまう。このため、IE3.0を完全な形で残したまま、IE4.0をセットアップすることはできない。

Q5 「アドレス帳」を別の場所に保存しておきたい。ファイルはどこにあるのか？

N 「C:\Program Files\Netscape\Users\プロファイル名\bookmark.nab」プロファイル名はセットアップのときに作成した自分のプロファイル名だが、「Users」フォルダーの下に1つしかフォルダーがないのなら、それが自分のプロファイル名に対応したディレクトリーだ。



【図1】 SiteShare :
URL <http://www.siteshare.com/stsh32c2.exe>
【図2】 QuikLink Explorer :
URL <http://www.quiklinks.com/qlexplr.html>

E 「C:\Windows\Application Data\Microsoft\Address Book\xxxx.wab」で、xxxxの部分には、ユーザー名が

使われているだろう。「wab」がウィンドウズアドレス帳のデータファイルの拡張子なので、この拡張子を持つファイルを検索してもいい。

バージョンアップしたけれど、これが分からない!

Q1 それぞれのブックマークを共有して使えるのか？

N E コミュニケーターとIEでは、ブックマークの形式が違うので、登録内容の共有は容易ではない。一番簡単な方法は、URLをコミュニケーター側だけに登録しておき、コミュニケーターのブックマークファイル（通常は、C:\Program Files\Netscape\Usersの下各プロファイルフォルダーにあるbookmark.htmファイル）をIEのお気に入りとして登録してしまうことだ。

また、コミュニケーターとIEのブックマーク機能を置き換えてしまうSiteShare（図1）や、オンラインソフトとしてブックマークファイルとお気に入りを変換するソフト（図2）なども利用できる。

Q2 プラグインやアクティブXコントロールはバージョンアップしても使えるのか？

N プラグインは、コミュニケーターとナビゲーターと同じフォルダーにセットアップすれば、そのまま使える。

E アクティブXコントロールは、OS側に登録されるものなので、アップ

デートしてもコンポーネントのファイルが残ってれば、そのまま動く。

Q3 IEの「編集」ボタンを押したら、ネットスケープコンポーザーが起動してしまった。なぜだろうか？

E HTMLファイルの編集プログラムとして、コンポーザーが指定されているためだろう。ファイルの関連付けを変更して、元の状態に戻す必要がある。これが難しければ、フロントパッド(IE4.0)を再インストールすれば、設定が回復する。

Q4 ネットキャスターがちゃんと動作しないのはなぜか？

N ネットキャスターは開発途中のプログラムなので、まだかなり不安定だ。英語版のコミュニケーターと組み合わせてもきちんと動作しないことが多いような状態。むりやり動かすには、Norton Crash Gardを使って、致命的エラーから回復させ、動作を継続させるという方法もあるが、一般的ではないので誰にでもすすめる方法ではない。もう少し安定するのを待ってから利用するようにしたほうがいいだろう（英語版のネットキャスターは8月15日に正式版がリリースされた）。

言いたい放題

「だから私はこっちが好き！」

その2

インターネットマガジン編集長
中島由弘

ずっとIE3.0を使っていましたが、仕事上の理由でコミュニケーター4.0英語版を入れてからは、こちらを使っています。メールソフトは会社ではUNIXメール、携帯用コンピュータでは以前はインターネットメールを使っていました。この場合、インターネットメールはPOP3サーバーからメッセージを受信する際にUNIXメールとの整合性を図るため、ダウンロードにとても時間がかかり、最悪の場合コンピュータが落ちたりしていました。その点、メッセージャーはこの整合性をとらないため受信が速い。それで、携帯用のコンピュータではメッセージャーを使い始めたわけです。基本的に、単独のメールソフトを使っている人ならどちらのWWWブラウザを使って



も差し支えないでしょう。個人的には、バージョンアップする環境が整っている人にはコミュニケーター4.0をすすめますが、そうでなければ、特にバージョンアップする必要はないでしょう。

でも、日本語のフォントはIEのほうがきれいだと思います。ネットスケープの不満な点は心なしか不安定のような気がするし、製品版はお金がかかることですね。一方、IE4.0はOSとWWWブラウザを作っているのが同じ会社なので安心、しかも無料というのが魅力です。簡単にハードディスクの初期化ができるようになれば、みなさんがIE4.0を迷いなく使えるようになるのですが、今は一部の人が楽しんでいないのが現状ですね。

「だから私はこっちが好き！」

その3

インターネットマガジンAD
岡田志乃助



会社と家で使っているマッキントッシュにはナビゲーター3.0とIE3.0の両方が入っています。会社用のウィンドウズはIE3.0だけです。それぞれ、バージョンアップしたいという希望はあります。私はマッキントッシュ派なのですが、世の中がウィンドウズに傾いているので、やっぱりIE4.0を使わざるを得ない。新しい技術に対する好奇心もありますからね。ただ、ネットサーフィンするだけならどちらも3.0のままでも構わないと思います。

今はマッキントッシュならネットスケープ、ウィンドウズならIEというように使い分けています。ウィンドウズに関しては初心者なので、これから旧来のウィンドウズ95のインターフェイスに慣れるより、一気にIE4.0にバージョンアップして、シェル統合された最新のインターフェイスを覚えようかなとも考えています。

【編集部の声】

コミュニケーター4.0のここが好き

- デザインがいい
- ウェブページの表示が速い
- オートコンプリートでURLの入力が簡単
- メッセージの機能が充実
- メッセージでメールの振り分けができる(3.0ではできない)
- ブックマークのボタンの位置と登録の容易さ
- Tabキーでリンクを移動できる

編集部内で一番使われていたWWWブラウザがこれだ。製品版ということもあるが、デザインの良さと処理の速さを挙げる人が多かった。メッセージの評判も良い。

Q5 ネットスケープメッセージだけを起動する方法はあるのか？

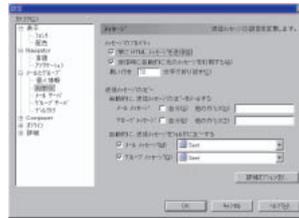
N スタートメニューにアイコンが登録されている。これを使うとメッセージャーを直接起動できる。

このアイコンに登録されているのは、「mail」オプションを付けてメッセージャーのプログラムを起動する方法で、「ファイル名を指定して実行」に「C:\Program Files\Netscape\Communicator\Program\netscape.exe-mail」と入力するのと同じだ。

Q6 HTMLメールの設定のしかたを教えてください。

N メッセージパネル「編集」メニューの「設定」で「常にHTMLメッセージを送信」を選択する(図3)。また、「詳細オプション」ボタンを押して、「メッセージ設定の詳細」ダイアログボックスを表示させ、「HTMLメッセージを受信可能な一覧に入っていない受取人に……」の項目で「メッセージをテキストのみに変換する」にチェックを付ける(図4)。または「常に尋ねる」を選んで、送信ごとに形式を選択することにしてもよい。HTMLメールが受信可能でない受取人宛にHTMLメールを送ってしまうと読めないメールになってしまう。HTMLメールが受信可能な相手のメールアドレスをアドレス帳に登録し「リッチテキスト(HTML)メールの受け取りが可能」にチェックを付ける。

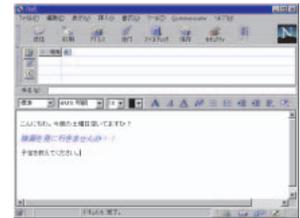
この状態で、メールの作成画面には、書



【図3】



【図4】



【図5】

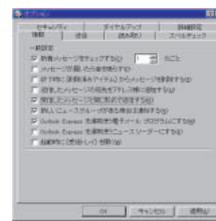
式設定用のツールバーが表示され(図5)、メールに書式を付けてHTMLで送信することが可能になる。ただし、相手がHTMLメールを受け取り可能な設定になっていない場合には、テキスト部分のみが送信される。この場合、設定した書式などが無効になってしまうので、要注意。

e アウトルックエクスプレスでは、「ツール」メニューの「オプション」で設定ダイアログを表示させ、「送信」タブを選ぶ(図6)。ここで、「メール送信の形式」として「HTML形式」を選択する。また、その右にある「設定」ボタンで「HTML形式の設定」ダイアログを表示させてエンコード方法として「なし」を選択し、「8ビットの文字をヘッダーに使用する」をオフに、「メッセージに画像を添付する」をオンにする。また「オプション」ダイアログの「情報」

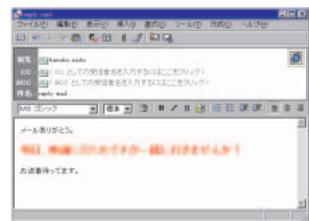
【図6】



【図7】



【図8】



タブ(図7)で、「受信したメッセージと同じ形式で返信する」にチェックを付ける。

HTMLメールを使う場合、送信する宛先はすべてアドレス帳に登録し、HTMLメールが受信できないユーザー宛には、アドレス帳の「個人情報」タブにある「テキストの電子メールメッセージだけを送信する」にチェックを付けておくといい。コミュニケーターとは違い、HTMLメールを受け取れないユーザーの場合にオンにする。初期設定ではオフ、つまりHTMLでメールを送るという状態になっているので注意が必要だ。この状態で、「メッセージの作成」ウィンドウにあるツールバー(図8)を使ってメッセージに書式を付けることが可能になり、前述の「個人情報」でテキストメールを送信する設定をしていないユーザー宛には、HTMLメールが送られるようになる。

言いたい放題

「だから私は こっちが好き！」

その4 編集部 倉園佳三



すでに、IE4.0とコミュニケーター4.0の両方を使っています。会社のパソコン（CPU Pentium 200MHz、HDD 2.5G、メモリ48MB）には仕事から両方のWWWブラウザを入れています。携帯用コンピュータはIE4.0だけをセットアップしています。WWWブラウザはナビゲーターに比べて使いやすく、特に新しく追加されたエクスプローラーで履歴を活用すれば、ブックマークを登録する必要がなくなるほど便利です。もともとアウトLOOKエクスプレスが使いたくてIE4.0を携帯用コンピュータにセットアップしました。出張先でメールを受信する場合、無駄なメールをフィルターによってダウンロードしないようにする機能が役に立ちます。でも会社のデスクトップでは、メッセージを使っています。安心して使えるうえに、アドレス帳などの機能が充実していますからね。現時点では、両方のWWWブラウザをコンテンツによって使い分けるのがベストです。

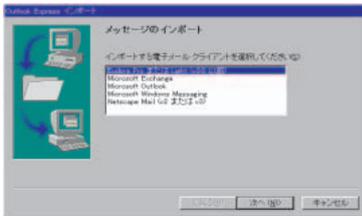
【編集部の声】

エクスプローラ4.0の ここが好き

無料

- エクスプローラーバーが便利
- デスクトップがカスタマイズできる
- アウトLOOKエクスプレスでアカウントを複数指定できる
- アウトLOOKエクスプレスのスレッド機能
- フォントがきれい

実際にセットアップしている人はまだ少ないが、使い始めるとかなり便利だ。家でアウトLOOK97を使っている人からは、アウトLOOKエクスプレスに住所録がインポートできたら面白いという声も上がった。



【図9】

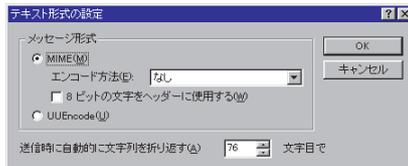
Q7 他のメールソフトから乗り換えるにはどうしたらいいか？

N メッセンジャーの場合、特に移行のための方法は用意されていないが、メールフォルダーの形式が俗にmbox形式と呼ばれているもので、UNIXのメールがメッセージを保存する形式と同じだ。したがって、これと同じ形式（あるいは似た形式）を持つソフトであれば、メッセージフォルダーファイルを各ユーザープロファイルの下にあるメールフォルダーへコピーすることで、移行できる場合がある。

e アウトLOOKエクスプレスでは、インポート機能（図9）を使うことで、他のプログラムで受信したメッセージをアウトLOOKエクスプレスのメールフォルダーへ取り込むことができる。

Q8 メールが化けてしまう。防く方法はないのか？

N 受信したメールがおかしい場合、文字コードセットの設定がまちがっていないだろうか。「表示」メニューの「文字コードセット」で、「日本語（自動選択）」を選ぶ。



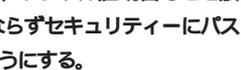
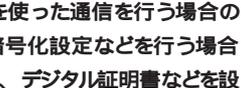
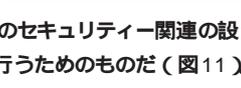
【図10】

送信したメールがおかしい場合、文字コードセットの状態を確認し、さらにHTMLメールが送られているかどうか（HTMLだと読めないメールソフトもある）を確認する。

e アウトLOOKエクスプレスを使っていて、相手に送ったメールが化けてしまうときは、エンコード方法が違うことが考えられる。テキストの場合、「ツール」メニューの「オプション」ダイアログボックスを表示させ、「送信」タブを選択する。ここにテキスト形式の設定ボタンがあるので、「エンコード方法」を「なし」にする（図10）。これで、本文部分がエンコードされなくなる。

Q9 「セキュリティ」ボタンにはどのような機能があるのか？

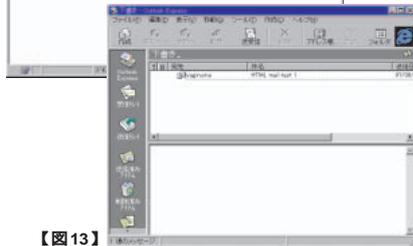
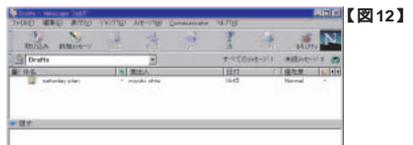
N 「セキュリティ」ボタンは、コミュニケーターのセキュリティ関連の設定や状態表示を行うためのものだ（図11）。SSLという規格を使った通信を行う場合の動作やメールの暗号化設定などを行う場合に利用する。なお、デジタル証明書などを設定した場合、かならずセキュリティにパスワードを付けるようにする。



Q10 「Drafts」フォルダーと「下書き」フォルダーの使いかたを教えてください。

N メッセンジャーにある「Drafts」フォルダーは、作成途中のメールを保存しておくところだ。メールの作成中に中断する場合などに、「ファイル」メニューの「下書きを保存」で「Drafts」フォルダーにメッセージを保存しておく（図12）。なお、このメッセージは、あくまでも作成途中の一時保存なので、「Drafts」フォルダー内のメールを再度編集して送信すると、「Drafts」フォルダーからこのメッセージが削除されてしまう。

e 下書きフォルダーも作成途中のメールを保存するところだ（図13）。作成途中で送信メッセージウィンドウを閉じると警告が表示され、メッセージが下書きフォルダーに保存される。この場合も再編集して送信するとメッセージは下書きフォルダーから削除される。



【図13】

Q11 セットアップ後に「一太郎 Ver.7」が動かなくなりました

Nすでにコミュニケーターをセットアップしてしまった場合には、「Windows」フォルダーの中の「System」フォルダーにある「msvcrt40.dll」というファイルを削除

して、別のマシンから、このファイルを持ってくる。あるいは、一太郎やIE3.01を再度セットアップして、正常に動作するmsvcrt40.dllを組み込むといい。

コミュニケーターの組み込み前ならば、このファイルを別のフォルダーに保存しておき、コミュニケーターのセットアップ終了後、保存していたmsvcrt40.dllを元のフォルダーにコピーする。

新規にフォルダーを作成してそこに圧縮したフォルダーのメッセージを移動させる。

Q3 IE4.0のシェル統合をやめるにはどうしたらいいの?

eコントロールパネルから、「アプリケーションの追加と削除」を選び、ダイアログボックスでIE4.0を選択して「追加と削除」ボタンを押す。IE4.0をアンインストールする画面が表示される(図16)ので、「Web統合デスクトップを削除するがInternet Explorer 4.0のWebブラウザは削除しない」にチェックを付けて「OK」を押すといい。

Q4 IE4.0シェル統合でダブルクリックに戻す方法は?

eマイコンピュータの表示メニューで「オプション」を選ぶ。この設定ダイアログではシェル統合のモード設定ができ、ここで「カスタム、選択する設定に基づきます」を選んで「設定」を押す。「Web統合設定」(図17)で「シングルクリック時に選択し、ダブルクリック時に開く」にチェックを付けて「OK」を押せば、シングルクリックのインターフェイスに戻る。

やっぱり元に戻したい!

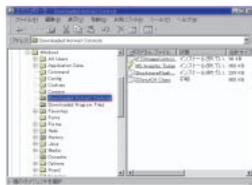
Q1 アクティブXコントロールを削除する方法は?

e「Windows」フォルダーにある「Downloaded ActiveX Controls」というフォルダー(図14)を開いて削除したいコンポーネントを選択し、右クリックで「削除」を選ぶ。これで、セットアップされているアクティブXコントロールを安全に削除することが可能。

Q2 アンインストールの正しいやりかたを教えてください。

N eコントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」(図15)で該当するプログラムを選択してアンインストールを行う。
なお、コミュニケーターで、メールフォルダーを圧縮してしまうと前バージョンでは読めなくなってしまうので、圧縮の設定をやめ

【図14】



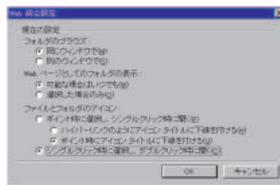
【図15】



【図16】



【図17】



言いたい放題

「だから私はバージョンアップしない」

【編集部の声】

コミュニケーター 4.0 ここが嫌い

- ・バージョンアップが頻繁で付き合っていられない
- ・有料
- ・メッセージセンターの意味が分からない
- ・メモリーを多く使う
- ・メールボックスの移行が面倒
- ・初めからブックマークに余計なものが登録されている
- ・つまらない機能が多い(コラボラ、コンファレンス)

使う機会が少ないため、コラボラが不人気。3.0時代の頻繁なバージョンアップがユーザーに不評だったのは興味深い。最後はやはり有料に尽きるか。

エクスプローラ 4.0 のここが嫌い

- ・不安定、すぐ落ちる
- ・デザイン、eマーク
- ・ベータ版を入れたくない
- ・OSの機能が変わってしまう
- ・アクティブデスクトップはいらない
- ・シェル統合したくない
- ・一度セットアップしたら後戻りできない

プレビュー1で困った人が多かったため、興味はあってもセットアップ後の不具合を気にする人が多数。マッキントッシュユーザーは生理的にIEが好きではないようだ。

バージョンアップしない

- ・面倒くさい
- ・保守的だから
- ・バージョンアップする時間がない
- ・安定性を重視しているから
- ・プッシュなんていない
- ・自分のマシンパワーが足りない
- ・まだよく分からない
- ・今のWWWブラウザに慣れている
- ・今は必然性を感じない
- ・周りの評判次第
- ・インターネットは普通にホームページが見られればよい

コミュニケーターVSエクスペローラ 今後を見たらどちらが得か?

ここまで、コミュニケーターとIE4.0をさまざまな角度から比較してきたが、今後も、マイクロソフト社とアップル社の提携によるMacOSへのIE4.0のバンドル、ネットキャスター正式版の発表など、話題は尽きない。「どちらを選ぶのが得か」の答えを出すためには、もう少し先の事情を見通しておいたほうがよさそうだ。プラットフォーム対応やコンテンツの充実など、今後の行方を占う要素はたくさんある。

1

ウィンドウズ98と IE4.0

ウィンドウズユーザーにとって今最も興味のある話題は、ウィンドウズの次期バージョン「ウィンドウズ98」の発売だろう。「メンフィス」というコードネームとともに、さまざまな新機能が紹介され始めている。当然、このOSには標準でIE4.0の正式版が含まれるはずだ。場合によっては、セットアップしたばかりの状態は「シェル統合」になっているかもしれない。ウィンドウズ98で初めてパソコンに触るユーザーには、IE4.0のWeb UIやチャンネルはあたりまえということになる。他社にとってこれはかなりの脅威になるはずだ。この時、ユーザーはまだWWWブラウザを選ぶだろう。

2

舞台は MacOS 8へ

マッキントッシュの最新OSはウィンドウズ98よりも早く出荷される。おそらく、10月中には間違いなくユーザーの手に届くはずだ。マックといえば、これまではネットスケープ以外のWWWブラウザは出る幕なしといった感じだった。しかし、ここにきて大事件が起きた。8月6日、マイクロソフト社はアップル社に1億5000万ドルを投資して、協力関係を結ぶことを発表した。おそらく、MacOS 8には間違いなくIEがバンドルされることになる。ネットスケープ社はますます苦しい展開を迫られるのか。それとも起死回生の秘策を発表するのか。マックユーザーにとっては大問題だ。

3

チャンネルVS ネットキャスター

今後の展開を占ううえで、忘れてはならないのが「チャンネルVSネットキャスター」のプッシュメディア戦争だ。そして、この戦いの雌雄を決める大きな要素が「コンテンツ」であることは間違いない。ユーザーにとっては「どんな機能があるか」よりも「どんなコンテンツが見られるか」のほうが重要だからだ。すでに、日本のコンテンツプロバイダーによってそれぞれのメディアへの参加が発表され始めている。ネットスケープ社には、ぜひこの分野でがんばってほしい。インボックスダイレクトとともにプッシュメディアを制すれば、まだまだ勝利のチャンスはあるはずだ。

4

インターネットで バージョンアップ

インターネットが今日のように普及する以前は、バージョンアップと言えば店頭でパッケージを購入することを意味していた。しかし、すでに、アップデートはインターネットで行うという環境は整い始めている。ネットスケープ社の「スマートアップデート」やマイクロソフト社の「アクティブセットアップ」がもっと進めば、ボタン1つで最新バージョンに変身するといったことも不可能ではないはずだ。不具合を修正するための追加ファイルも自動的に送られてくる。ユーザーはバージョンアップを意識することなく、いつでも最新のツールを使っている。そんな時代は決して遠くないのだ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp